

# ＜ 地理歴史・公民 ＞科 学習シラバス

科目	地理探究	学年・類型	3年生 紙のまちづくり	単位数	3単位	教科書	新詳地理探究（帝国書院）	
学習の到達目標		社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。						
評価の観点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。		地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・課題レポート</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・学習活動における発問</li> <li>・課題レポート</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・予習や復習、課題への取り組み状況</li> <li>・課題レポート</li> <li>・ノート提出</li> </ul>			
学期	月	単元名・小単元名	学習の指導内容			評価の観点		
					A	B	C	
1 学期	4	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 序説 地球環境と人間 1節 地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大地形や小地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのかを理解する。</li> </ul>			○		○
		2節 気候	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているのかを理解する。</li> </ul>			○	○	
	5	3節 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境にはどのような特徴があり、その特徴は自然災害とどのように関係しているのかを理解する。</li> </ul>				○	○
		4節 地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいのかを理解する。</li> </ul>				○	○
	6	第2章 資源と産業 1節 農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるのかを考える。</li> </ul>			○		○
		2節 食料問題 3節 エネルギー・鉱産資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飽食や飢餓がみられる地域やその原因について考える。</li> <li>・エネルギー・鉱産資源は、どのようにして生活や産業に利用され、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているのかを理解する。</li> </ul>			○	○	○
7	4節 資源・エネルギー問題 5節 工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要なのかを理解する。</li> <li>・世界の工業はどのように発展し、現在ではどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているのかを理解する。</li> </ul>			○	○	○	
	6節 第3次産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、第3次産業の現状はどのように変わっているのかについて考察する。</li> </ul>			○		○	
2 学期	8 ・ 9	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏 第4章 人口、村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通網や通信網の発達には、傾向や地域性、地域間格差が現れていることを読み取る。</li> <li>・観光にはどのような特徴や利点があり、どのような課題があるのかを理解する。</li> <li>・世界の貿易は拡大を続けているが、地域性や地域間格差が現れてきている理由を考える。</li> </ul>			○	○	○
		1節 人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によって異なる人口問題に対し、どのような対策ができるのかを考える。</li> <li>・世界にはどのような都市・居住問題があり、どのような取り組みが行われているのかを考察する。</li> </ul>			○	○	○
	10	5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているのかに着目する。</li> </ul>			○	○	○
		2節 民族・宗教と民族問題 3節 国家の領域と領土問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民族や宗教の独自性は、各地にみられる民族問題の背景とどのように関わっているのかを理解する。</li> <li>・領域が定められたり、その領域が変更されたり、国家が新たに誕生したりすることで、どのような問題が起こっているのかを理解する。</li> </ul>			○	○	○
	11	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理し、急速な経済発展に伴う地球的課題について考察する。</li> </ul>			○		○
		1節 地域区分 第2章 現代世界の諸地域 序説 地域の考察方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境や歴史と生活文化、産業、民族など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。</li> <li>・産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて考察する。</li> </ul>			○	○	○
12	4節 インド 5節 西アジアと中央アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西アジアと中央アジアを比較し、一般性や地域の特異性を考察する。</li> </ul>			○		○	
	6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 7節 EU諸国 8節 ロシア 9節 アメリカ合衆国 10節 ラテンアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北アフリカとサハラ以南アフリカを比較するとともに、一次産品への依存がもたらす地球的課題を考察する。</li> <li>・工業や農業の特徴をとらえ、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。</li> <li>・地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理しつつ、地球的課題を考察する。</li> </ul>			○	○	○	
3 学期	1 ・ 2 ・ 3	11節 オーストラリアとニュージーランド 第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の研究 1節 将来の国土の在り方 2節 持続可能な日本の国土像の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアとニュージーランドを比較し、類似する一般性や地域の特異性を考察する。</li> <li>・日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みればよいのかを理解する。</li> <li>・現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいのかを理解する。</li> </ul>			○	○	○
						○	○	○
						○	○	○
学習のポイント		教科書を熟読したり、ノートやプリント等を確実にまとめたりする。自宅で、予習と復習を行い、学習内容の理解に努める。授業内容を踏まえた小テストに取り組む。返却されたテストやレポート、自己評価等の見直しを行う。情報を積極的に取り入れ、常に物事を多面的・多角的に捉えることのできる課題意識を持つこと。						